

【東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金推薦申請書 様式 1】

東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金推薦申請書

様式 1

東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金運用管理委員会 御中

以下により応援金の推薦申請をいたします。

申請日	2022年 1月 7日		
団体名	特定非営利活動法人ふよう土 2100		
代表者氏名	大澤康泰	実施責任者	大澤康泰
連絡先	Mail: honbu@npo-fuyodo2100.org TEL: 024-983-7642		
* 事務局からの連絡・書類の送付は、全て実施責任者宛に行います。事業の内容について日常的にお問合せのできる方を実施責任者として選定してください。			
推薦団体活動内容概要			
団体設立年月日	2011年 8月 24日		
法人格取得日	2011年 11月 17日		
助成対象となる事業内容	1 あゆ一む、放課後等デイサービスがっこ、える一む環境整備事業 2 交流サロンひかり体験活動事業 3 貧困家庭の食事支援事業		
支援対象者	※対象エリアと受益者数についても言及 東京電力福島第一原子力発電所事故で被災した郡山市内で暮らす障がい児者家族。その中でも主に郡山市内の支援学校や支援学級に通う子供たち、およそ400人。東日本大震災・原発事故で被災した知的障害や発達障害の子どもたち家族。		
応援金使途	※社会的影響の範囲についても言及 1 あゆ一む、放課後等デイサービスがっこ、える一む環境整備事業 改修費用 300,000円 2 交流サロンひかり体験活動費 2011年のNPO設立以降、力を注いできた障がい児者を対象にした体験事業。ここ数年は、コロナ禍で特に制限されてきたため、福島県の良さを改めて知るために、浜・中・会津で屋外体験活動を実施する。 体験活動費（バス代、高速代等） 200,000円 3 貧困家庭の食事支援費用 事業所近辺は、公営住宅も多くあり、家庭での食生活がままならない子供たちも少なくない。貧困世帯の子供たちを対象に不定期にお弁当提供などを実施する。 活動費（会場費、お弁当代等） 100,000円		
弊生協との関係性 ※連携による可能性、社会的影響等	復興支援のスタディツアーの案内を通じて、WEB等で原発事故後の福島の復興状況、福島の子どもたちの現況について発信を続けている。 現地報告会が開催されば、活動している子供たちが収穫したリンゴが原料となったリンゴジュースや子供たちが制作したエコバック等を販売し、交流を続けてきた。		
当該事業予算額	600,000円		
申請する応援金の予定額 ※上限 100万円	600,000円 ※応援金確定額ではありません。		

※当申請書の提出期限は、2022年1月7日（金）必着

<注意事項>

- ・対象となる活動期間は2022年4月1日～2023年3月31日までです。
- ・申込時点で未実施のものは、予算（見込）額を申請してください。
- ・活動期間内に申請した企画を行わなかった場合は返金となります。また、申請額より実費が下回った場合は、その差額を返金していただきます。